

事業実施者名	北海道森町	人口	19千人 (平成20年3月31日現在)
事業名	幼稚園でのフッ化物配合歯磨剤によるむし歯予防		
予算	【予算額】0千円		
実施方法	幼稚園主導		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団でのフッ化物配合歯磨剤の利用 ・ 幼稚園が主体的に実施 		
<p>【事業目的】</p> <p>幼稚園児のむし歯有病者率は3歳児 65.3%、4歳児 74.0%、5歳児 84.9%と高い状況である。特に砂原地区（旧砂原町）の幼稚園児のむし歯有病者率が高いため、フッ化物配合歯磨剤の有効活用によりむし歯を予防することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成21年1月開始</p> <p>2. 実施体制 森町立さわら幼稚園、森町</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 幼稚園児（3歳児：36人、4歳児：31人、5歳児：33人） 園児の保護者</p> <p>4. 内容 幼稚園児の口腔状況について話し合い（森町、幼稚園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科健診後の園児の口腔状況について町歯科衛生士より説明 ・ むし歯予防法について検討 <p>幼稚園による保護者説明会実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の口腔状況の説明 ・ フッ化物配合歯磨剤の利用について説明 <p>フッ化物配合歯磨剤の利用による歯みがきの実施 (北海道市町村母子歯科保健指導マニュアルにより効果的に実施～添付資料～)</p> <p><手順></p> <p>昼食後の歯みがき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3、4歳児：教諭の指導により歯みがき（添付写真1） ・ 5歳児：歯みがき当番園児の指示により決められた順に全員で歯みがき <p>うがい</p> <p>フッ化物配合歯磨剤を歯ブラシにつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児：教諭が一人ずつ順番につけてゆく（添付写真2） 			

- ・ 4、5 歳児：教諭の監督のもと各自でつける
(工夫された歯みがき剤ラックによりスムーズにつけることが可能～添付写真 3)
歯みがき剤を歯にぬるように歯みがき
うがい（軽く 2 回）

※フッ化物配合歯磨剤は、各児の保護者が用意。

月曜日に園児に持たせ金曜日に持ち帰り、使用した量をチェックして補充する。

5. 結果

- ・ 保護者の理解が得られ、すべての幼稚園児 100 人が昼食後にフッ化物配合歯磨剤を利用した歯みがきが実施可能となった。
- ・ 幼稚園より保護者へ園児の口腔状況が悪いことが直接伝えられたことにより、他の健診場面で保護者から「園児の口腔状況が悪いと聞いた」という意見が多数聞かれるようになった。このことから保護者の歯科保健意識が高まったと考えられる。
- ・ 園児が適切なフッ化物配合歯磨剤の使用方法を習得することにより、卒園後も継続して使用することが考えられ効果の持続が期待できる。
- ・ 幼稚園主導で実施できたために「歯みがきラックの工夫」や「歯みがき剤を週 1 回持ち帰る」などの様々な現場に即した独創的な工夫がなされた。

【今後の課題】

実施による効果分析

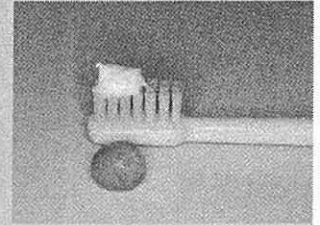
<添付資料>



市町村母子歯科保健
指導マニュアル
「北海道保健福祉部」

<フッ化物配合歯磨剤の指導のポイント>

- ① 最初は何もつけず、から磨きで丁寧に汚れを十分に落とす。
- ② 途中、うがいをして汚れを流す。
- ③ 仕上げみがきの最後の方でフッ化物配合歯磨剤をつけて全体的に行き渡るように磨く。(磨くというよりフッ素を塗るとい
う感覚で)
- ④ 歯磨剤の量は歯ブラシの毛の部分の1/3~1/2程度
- ⑤ 磨いた後のうがいは軽く2~3回程度にする
- ⑥ 歯磨剤をつける際は本人まかせにせず、保護者がつける
- ⑦ 低年齢時がある家庭では歯磨剤は子どもの手の届かないところに保管す
る(誤飲の防止)
- ⑧ 直後の飲食は避ける。

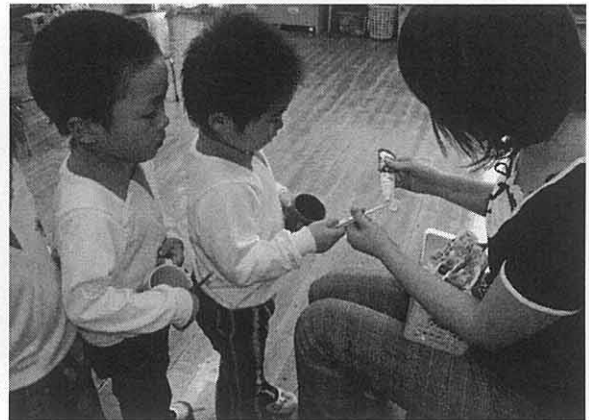


<写真1>



4歳児~教諭の指導により歯みがき

<写真2>



3歳児~並んで順番に歯みがき剤をつける

<写真3>



歯みがき剤ラック (教諭の工夫により用意)



教室に歯みがきの手順を掲載

事業実施者名	青森県むつ市	人口	65 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	むし歯予防教室		
予算	【予算額】平成 20 年度 209 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内保育施設の 4、5 歳児及びその保護者を対象に 3 回シリーズで実施し、毎回テーマに沿った歯科保健と食育とが連携した事業。 ・ 子育て支援センターは、乳幼児及びその家族を対象とした歯科保健と食育とが連携した事業。 		
<p>【事業目的】</p> <p>幼児期から歯や食に対する関心をもつことで、むし歯にならない生活習慣を身につけることができる。</p> <p>歯と食は関連しており、正しい歯みがき習慣や良い食習慣は将来の歯の健康と密接に関連する。特に乳幼児のむし歯は保護者の管理が大きく影響するため、保護者に対しての啓蒙を目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 11 年度開始</p> <p>2. 実施体制 むつ市（保育施設嘱託医師、歯科衛生士、栄養士、保健師）</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 市内保育施設の 4、5 歳児及びその保護者（平成 20 年度は、8 カ所実施予定） 入園、入所前の乳幼児及びその家族（平成 20 年度は、支援センター 2 カ所実施）</p> <p>4. 内容 保育施設</p> <p>1 回目</p> <p>1) 劇：むし歯をつくるまで 2) おやつの話 3) 歯垢染め出し液を使用したブラッシング指導</p> <p>2 回目</p> <p>1) むし歯菌を見よう 2) 食べ物の話 3) 歯垢染め出し液を使用したブラッシング指導</p> <p>3 回目</p> <p>1) バランスよく食べよう（ちから、からだ、ちょうし） 2) 歯垢染め出し液を使用したブラッシング指導</p>			

子育て支援センター

- 1) 劇：むし歯をつくるまで
- 2) おやつ、食べ物の話
- 3) ブラッシング指導

5. 結果

教室終了後の保育施設アンケートから、保育園（所）での歯みがき時間が長くなった、歯みがきが丁寧になった、きれいになった？と見せにくる子どもが増えた等の意見から良い歯みがき習慣が付き始めている。給食時（お弁当）にはこの食べ物はちからだよね、よく噛もうね、好き嫌いはだめだよ等が子ども達同士で話題になっているようです。また、保護者から仕上げ磨きをするようになった、仕上げ磨きの回数が増えた、ジュースより牛乳を飲むようになった、食卓に並んだ食品について等の反応があり、保護者の歯みがき、食事に対する意識も高まっている。幼児期に歯と食育についての大切さを知る良い機会になっているようです。

平成 20 年度実績

保育施設：3カ所実施、3カ所実施中、2カ所実施予定

子育て支援センター：1カ所実施、1カ所実施予定

【今後の課題】

年度内の実施施設数増加

事業実施者名	青森県むつ市	人口	65 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	食育推進事業 (いただきます教室)		
予算	【予算額】平成 20 年度 229 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 市内保育施設を 3 回シリーズで実施し、歯科保健と食育とが連携した事業		
<p>【事業目的】</p> <p>近年、生活水準が向上し、日々忙しい食生活をおくる中、食の大切さの意識が希薄になり健全な食生活が失われつつあります。飽食の時代とも言われ食の外分化、不規則な食生活、脂質の過剰摂取、野菜の摂取不足、ダイエット、生活リズムも夜型となり起床時間も遅く朝食の欠食やおやつを食事代わりにしているなど、食生活の乱れが、肥満、生活習慣病の増加を促している。</p> <p>このことから、未来を担う子ども達に健全な食生活を送ってもらうために、「いただきます教室」を通じて、子ども達が生涯にわたり健全な食生活を実践でき、豊かな人間性を育むことができるように支援する。</p> <p>また、食生活は家庭が基本となるので保護者への相乗効果を目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 18 年度開始</p> <p>2. 実施体制 むつ市 (栄養士、歯科衛生士、保健師)</p> <p>3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 市内保育施設の 4、5 歳児とその保護者</p> <p>4. 内容 保育施設</p> <p>1 回目</p> <p>1) おやつについて 2) 歯を大切にしよう 3) 食品群の種類と役割</p> <p>2 回目</p> <p>1) おやつについて、箸の持ち方、野菜の育ち方、いただきますの意味、朝食について 2) 生活リズムについて 3) 歯を大切にしよう 4) 食事バランスについてエプロンシアター</p>			

3回目

- 1) バランスよく食べよう（トレーにちから、からだ、ちょうしの食材を並べる）
- 2) めざそう8020運動
- 3) 体の仕組み

5. 結果

教室終了後保育施設のアンケートから、食事や歯みがき等で園児達の会話に「いただきます教室」で出ている。食器の持ち方、箸の持ち方、嫌いな物も自分から頑張っている、歯みがきは時間をかけて磨こう等友達同士で声かけをしているとありました。このことからいずれの大切さも理解出来ているようです。

【今後の課題】

年度内の実施施設数増加

事業実施者名	青森県東通村	人口	8千人 (平成20年3月31日現在)
事業名	東通村歯科診療室設置事業		
予算	【予算額】平成21年度 3,000千円 【予算分類】単独		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科診療室を学校に併設して整備（東通小学校増築事業） ・ 児童生徒のう歯治療及び歯科医による健康指導の充実 		
<p>【事業目的】</p> <p>東通村の乳幼児及び児童生徒のう歯保有率は年々減少してきてはいるが、いまだ全国と比較して極めて高い数値を示している。</p> <p>村内には長い間、歯科医院が無く遠距離である「むつ市」への通院を余儀なくされてきた。とりわけ保護者の同伴が必要な子どもたち場合、歯科診療機会が不十分にならざるを得なかったことが、高いう歯保有率の大きな要因となってきたものである。</p> <p>このことから、効果的な対策が必要であることから、平成21年4月、村内1校統合する小学校の増築工事と併せて歯科診療室を併設するものである。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定）</p> <p>平成21年度開始 (平成21年7月1日診療開始予定)</p> <p>2. 実施体制</p> <p>開設は東通村、診療は東通村学校歯科医との委託契約によって運営。</p> <p>村、学校、保護者、歯科医で組織する「東通村学校歯科診療室運営協議会」を設置し、適切な運営方法を検討する。</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等）</p> <p>当面は東通小学校及び中学校の児童生徒。平成23年度に隣接して設置予定である乳幼児施設入所の乳幼児。また、将来的にはすべての村民を対象として検討する。</p> <p>4. 内容</p> <p>歯科診療室を学校に併設することにより、児童生徒のう歯治療を適切かつ継続的に行い、う歯保有率の改善を図るとともに、歯科医による健康指導を充実して行うものである。</p> <p>診療日時、診療方法等については現在検討・調整中です。</p> <p>5. 結果</p> <p>平成21年度からの事業のため省略</p> <p>【今後の課題】</p> <p>平成21年度からの事業のため省略</p>			

事業実施者名	岩手県北上市	人口	94 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	いい歯のつどい		
予算	【予算額】平成 20 年度 246 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北上歯科医師会、北上保健所、北上市保健推進員協議会、社会福祉協議会の協力により事業を実施 ・ 参加者自身が歯の健康度を実感することができる「健口ラリー」を実施 ・ 幼児から高齢者まで、誰もが楽しんで参加できる 		
<p>【事業目的】</p> <p>むし歯や歯周病などの歯科疾患は生活習慣病であり、予防するためには家族ぐるみの取り組みが大切なことから、家族で歯科疾患予防についての知識をさらに深め、「8020運動」を推進することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 15 年度開始、平成 24 年度終了予定</p> <p>2. 実施体制 実施主体：北上市 共催：北上歯科医師会、北上保健所 協力：北上市保健推進員協議会、社会福祉協議会</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 年齢、職業に関わらず、会場に直接来ることが出来る市民</p> <p>4. 内容 <u>平成 20 年度</u> 平成 20 年 9 月 7 日（日）に北上市健康まつりと同時開催</p> <p>(1) 「いい歯の健康家族」募集 3 歳以上でむし歯のない市民、5028 達成者、6024 達成者、8020 達成者</p> <p>(2) 健口ラリーの実施 口腔の健康度を測定するコーナーを設置し、各コーナーを得点制として合計得点によって健口度を知らせる。 歯科検診、むし歯菌チェック、歯周病チェック、歯垢チェック、口臭チェック</p> <p>(3) 歯科疾患予防のポスター展示</p> <p>(4) 食生活、生活習慣指導のポスター展示</p> <p>5. 結果 <u>平成 20 年度実績</u> 参加者数 490 名（小学生以下 257 名、中学生以上 233 名）</p>			

健口ラリー参加者数

- ・ 小学生以下 245名（男性113名、女性132名）
健口ラリーにて80点以上の高得点取得者235名（うち満点者92名）
- ・ 中学生以上 209名（男性71名、女性137名、性別不明1名）
健口ラリーにて80点以上の高得点取得者193名（うち満点者64名）

事業評価

平成19年度と比較し、参加者は21名の減少ではあったが、平成15年度を基準とした参加者の約2倍となり、市民の関心の高さが伺われる。また、60歳以上の方が26名参加し、なかでも8020達成者が4名もいたことはとても素晴らしいと感じた。

また、初めての試みとして、健口ラリーにおいて3名以上が満点の家族を表彰したが、8家族25名が該当した。

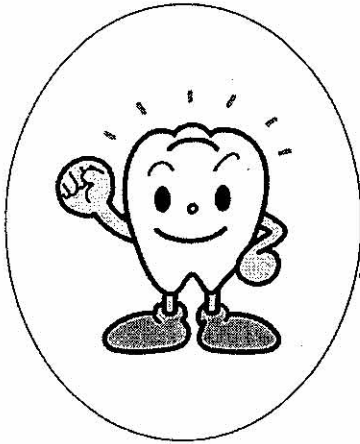
歯の健康に力を入れている市民が増加している傾向がみられるため、今後も継続して8020運動を推進していきたい。

【今後の課題】

- ・ 実施主体について
北上市、北上歯科医師会、他団体等との協働事業とすることを検討していきたい。
- ・ 会場について
北上市健康まつりと同時開催しているため、多くの市民が参加している。今後も参加しやすい方法を考慮していく必要がある。
- ・ 事業内容について
市民が楽しんで参加できる内容を検討していきたい。

むし歯ゼロで

第6回 いい歯のつどい



元気な体!

■日 時 平成20年9月7日(日) 午前10時～午後1時

■場 所 北上総合体育館

《 健口ラリーコーナー紹介 》

- A①- 歯科 検 診 (むし歯の本数を調べます)
- A②- むし歯菌チェック (小学生までのお子さんを対象とし、むし歯菌が多くないか調べます)
- B- 歯垢チェック (磨き残しをチェックします)
- C- 口臭チェック (口臭を簡易測定します)

各コーナーをまわり、お口の健康度をチェックしてみましょう。
 高得点者には、記念品を用意しております。
 また、1家族3人以上が満点であればミニステージにて表彰をします。

【 第6回 いい歯のつどい 】

平成20年9月7日 ^{けんこう}健口ラリー 得点表 【小学生以下用】

各コーナーで、皆さんのお口の健康度をチェックします。1つのコーナー、最高**20**点。4つのコーナー全部参加した方には、**プラス20点のボーナス**をさしあげます。**100点満点**です。得点により記念品を用意しております。

さて、あなたの健口度は？



コ ー ナ ー	得 点
A①- 歯科検診 ・むし歯がない方 20 点…………… (◎ 良好) むし歯 <u> </u> 本 ・むし歯1本につき マイナス1 点…………… (⊖ 早めに治療しましょう) ・むし歯10本以上 10 点…………… (⊖ 早めに治療しましょう)	
A②- むし歯菌チェック ・RDテスト (L) の方 20 点…………… (◎ 良好) ・RDテスト (M・H) の方 10 点…………… (⊖ 要注意)	時 分
B- 歯垢チェック ・プラーク (歯垢) が少ない方 20 点…………… (◎ 良好) ・プラーク (歯垢) が多い方 10 点…………… (⊖ 要注意)	
C- 口臭チェック ・口臭が無い方 20 点 ・口臭が有る方 10 点 ※ 口臭の原因はいろいろありますが、むし歯やよく噛まないで食事をする場合も口臭の原因になることがあります。	
ボ ー ナ ス 点	20

合 計 _____ 点

H20. 9. 7

(控え)

名 前 _____

_____ 歳 男 ・ 女

キ
リ
ト
リ

コ ー ナ ー	得 点
A①-歯科検診	20
全歯牙健全	
う歯 本	
処置歯 本	10
A②-むし歯菌	
RDテスト	20
(L・M・H)	10
B-歯垢	
少ない	20
多い	10
C-口臭	
無い	20
有り	10
ボ ー ナ ス 点	20

合 計 _____ 点

ハチマルニマル 目指せ8020!



一生自分の歯で食べられるよう、歯や歯ぐきの病気を予防しましょう。

■日 時 平成20年9月7日(日) 午前10時～午後1時
■場 所 北上総合体育館

《健口ラリーコーナー紹介》

- A①- 歯科検診 (残っている歯の数、むし歯の数を調べます)
- A③- 歯周病チェック (中学生以上の方を対象とし、簡単な検査で歯ぐきの状態を調べます)
- B- 歯垢チェック (磨き残しをチェックします)
- C- 口臭チェック (口臭を簡易測定します)

各コーナーをまわり、お口の健康度をチェックしてみましょう。
高得点者には、記念品を用意しております。
また、1家族3人以上が満点であればミニステージにて表彰をします。

【第6回 いい歯のつどい】

平成20年9月7日 ^{けんこう}健口ラリー 得点表 【中学生以上の方】

各コーナーで、皆さんのお口の健康度をチェックします。1つのコーナー、最高20点。4つのコーナー全部参加した方には、**プラス20点のボーナス**をさしあげます。**100点満点**です。得点により記念品を用意しております。



さて、あなたの健口度は？

コーナー	得点
A①- 歯科検診 <残っている歯の数 上 _____ 本 下 _____ 本 計 _____ 本> ・むし歯がない方 20点 …………… (◎ 良好) むし歯 _____ 本 ・むし歯1本につき マイナス1点 …………… (⊗ 早めに治療しましょう) ・むし歯10本以上 10点 …………… (⊗ 早めに治療しましょう)	
A③- 歯周病チェック ・唾液潜血検査 (-) の方 20点 …………… (◎ 良好) ・ " (それ以外) の方 10点 …………… (⊗ 要注意)	
B- 歯垢チェック ・プラーク (歯垢) が少ない方 20点 …………… (◎ 良好) ・プラーク (歯垢) が多い方 10点 …………… (⊗ 要注意)	
C- 口臭チェック ・口臭が無い方 20点 ・口臭が有る方 10点 ※ 口臭の原因はいろいろ有りますが、むし歯や歯周病の他に、よく噛まないで食事をする方も口臭が有る場合があります。	
ボ ナ ス 点	20

H20. 9. 7

(控え)

名 前 _____

_____ 歳 男 ・ 女

キ
リ
ト
リ

コーナー	得点
A①- 歯科検診 残存歯数 / = 本 う 歯 本 全歯牙健全 5028・6024・8020	20
A③- 歯周病 潜血 (-) (それ以外)	20 10
B- 歯垢 少ない 多い	20 10
C- 口臭 無 有	20 10
ボ ナ ス	20

合 計 _____ 点

合 計 _____ 点

事業実施者名	岩手県葛巻町	人口	8千人 (平成20年3月31日現在)
事業名	幼児歯科プロジェクトチーム		
予算	【予算額】 30千円 (30千円×5年=150千円) 【予算分類】 その他 [補助金] 【国庫補助事業名・助成金事業名等】 久慈歯科医師会から活動補助金		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 行政主導ではなく、メンバーの主体的な活動である。「乳幼児のむし歯予防」に関して、保育士・保護者それぞれの立場で自分の資源・能力を生かすどのような取り組みが可能か考えて活動している。 		
【事業目的】 4～6歳児のう歯罹患率が高く、子どもの生活を取りまく環境の改善等が必要である。そのため、専門家、住民など、子どもを取り巻く人たちが組織する幼児歯科プロジェクトチームを立ち上げ、幼児期の乳歯う歯の罹患状況の改善を目指した取り組みを行う。			
【事業概要】 1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成16年度開始。平成20年度を1つの区切りとして「平成20年までに3歳6ヶ月児むし歯ゼロを目指す」を活動目標として設定。			
2. 実施体制 【メンバー】 任期は1年である。約20人前後。			
	人数	役割	
歯科医師	1	専門知識の提供。会のオブザーバー等。	
町立保育園保育士	1	園の状況等の情報提供や会の内容を園に伝達。	
町立保育園 保護者代表	4	日頃感じていること、家庭や園、役場に対すること。	
幼稚園教諭	1	園の状況等の情報提供や会の内容を園に伝達。	
幼稚園 保護者代表	2	日頃感じていること、家庭や園、役場に対すること。	
児童館代表	1	園の状況等の情報提供や会の内容を園に伝達。	
歯科保健推進 協議会母親代表	2	日頃感じていること、家庭や園、役場に対すること。	
学校保健会 養護教諭部会	1	学校の状況(歯科保健)等の情報提供や他の養護教諭部会のメンバーに会の内容を伝達。	
前期メンバー	3～4	今までの経過を情報提供。今後の方向性を共に考える。	
健康福祉課	4	事務局として作業が円滑に進むように準備や情報提供。	

【役割】

「乳幼児のむし歯予防」に関して、それぞれの立場から、自分の資源または能力で、どんな取り組みが可能か意見を出し合う。(平成16年度からの経過を踏まえ検討する。)

保護者からの園に対する呼びかけ。

現場の補助。

3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等)

乳幼児およびその保護者。

4. 内容

開催日程や内容については、メンバーで話し合いながら決定する。

平成16年度 「アンケート調査」

- ・ 8月 17人……リーダー、サブリーダー選出。会の趣旨や町の保健事業内容説明。
- ・ 9月 14人……歯科医師による研修会。(むし歯の予防方法や歯に関する基礎知識。)
- ・ 10月 11人……グループ討議。(2グループに分かれて今後の取り組みについて検討。)
- ・ 12月 11人……アンケート調査内容の検討。

平成17年度 「標語募集」

- ・ 7月 12人……リーダー、サブリーダー選出。前年度検討したアンケートを配布。
- ・ 9月 ……アンケート結果に基づく保護者の反応から今後の活動について話し合い。
- ・ 11月 13人……今までの活動を模造紙に書いて振り返り、具体的な数値目標の設定。
標語募集。
- ・ 1月 14人……標語審査および決定。
最優秀作品を歯ブラシに刻印し、幼児歯科健診時に配布。

平成18年度 「健康福祉まつりへの参加」

- ・ 8月 13人……リーダー、サブリーダー選出。今年度の活動目標設定。
- ・ 9月 14人……健康福祉まつり 歯科コーナー参加への準備。
- ・ 10月 ……健康福祉まつり開催。
- ・ 11月 11人……活動反省(今回のメンバーと前期メンバー全員に案内をし、今までの振り返り。)

平成19年度 「健康福祉まつりへの参加」

- ・ 8月 17人……意見交換(困ったことや日頃の疑問点について)と今年度の活動内容について
- ・ 9月 11人……健康福祉まつり 歯科コーナーの検討。
- ・ 10月 11人……健康福祉まつりに向けての準備。
健康福祉まつり参加。
- ・ 11月 10人……今年度の活動反省。

平成20年度 「健康福祉まつりへの参加。チラシ作成」

- ・ 8月 13人……意見交換。
- ・ 9月 12人……幼児歯科健診において歯科衛生士のブラッシング指導方法を学ぶ。
- ・ 10月 12人……健康福祉まつりの準備。
健康福祉まつり参加。
- ・ 12月(予定) 今年度の活動反省。

※詳細については、参考資料参照。

5. 結果

メンバー自身の歯科保健の基礎知識を習得できた。

歯科保健を通じて、食育への取り組みの必要性を共通課題として認識出来た。

専門スタッフの事業内容の見直し、保健指導の充実へとつながった。

〈良かった点〉

リーダー、サブリーダーを選出し会を進行していったことがよかった。

メンバーが増えていること。→会に参加した人の割合が増えていることでその家族や周囲の人に及ぼす影響が大きい。

〈苦勞した点〉

メンバーを主体とした活動につなげていくことが難しかった。（「何をしたらいいかわからない」と声があったが、そこを皆さんで考えていただきながら進めてきた。）

初年度は、2グループになり、話しやすい環境を作った。そしたら、保護者からたくさん意見や要望がでてきた。どんな意見でも、話しやすい雰囲気となるよう、リーダー、サブリーダーと事前に打ち合わせをした。

行政は、提案をするだけで意志決定は、メンバーが行った。

任期を1年にしているので、メンバーが代わるたびに一からのスタートとなったが、継続したメンバーが中心となり活動できた。

【今後の課題】





- ・ 会に参加した人が増えていることにより、歯科の知識は広まってきてはいるが、その結果が数値として反映されていない。
- ・ 祖父母と同居している家庭も多く、父母だけでなく家族全員への働きかけが必要である。



幼児歯科プロジェクトチームの軌跡

設立のきっかけ	県内でも乳幼児のむし歯がワースト3に入る多さ。むし歯があることで、ご飯が食べられなかったり、園を休んだり、眠れなかったり子どもの生活そのものを脅かす。
具体的取り組み	①葛巻町の幼児の虫歯を通してヘルスプロモーションの推進 ②住民、地元歯科医師、行政が連携し、乳幼児むし歯対策に取り組む。 ③幼児のむし歯にかかる子どもの率、むし歯の本数を下げる。
長期目標	平成20年までに3歳6ヶ月児むし歯0本を目指す！（平成17年度決定）
平成18年度目標	広めよう！むし歯予防とよい話！
役割	①「乳幼児のむし歯予防」に関して、それぞれの立場から、自分の資源または能力でどんな取り組みが可能か意見を出し合う。 ② 保護者からの園に対する呼びかけ ③ 現場の手伝い
メンバー	 メンバー
アンケート調査	対象者：葛巻町内の平成10年4月2日生まれから平成16年4月1日生まれの290人。 結果：別紙のとおり 結果配布後の反応 ○ 乳幼児の歯の大切さを知った ○ ほかの人の意見がわかってよかった ○ 意外と歯科医院で健診してもらっている人がいるんだな ○ 小さいころからの毎日の習慣がなによりも大事だと思えます。幼稚園、保育園、祖父母等によりがちになります。祖父母が責任を持って働きかけをしてあげることによって、それが習慣につながっていくと思います。 ○ 祖父母への指導を！ ○ アンケート結果をみて今まで関心がなかったが、とても関心をもてるようになりました。歯科の用語について説明してほしい(歯科健診の前などに1~2個ずつ)。
メンバー	 平成17年度
主要活動内容	標語募集し、最優秀者の標語を歯ブラシに刻印～歯ブラシ配布のお知らせ～ みなさんがこれから素敵な生活を送るために、「歯の健康」の観点から幼児歯科保健事業推進チームが「何か一つ行動をしよう」と目標を持って2年間活動してきました。 みなさんに、平成17年12月中旬に標語を募集した結果、小戸瀬保育園の村井悠真くんの作品が選ばれ歯ブラシに刻印しております。 葛巻町の乳幼児のむし歯0本を目指して、みんなで見守りましょう。 ～作品～ 最優秀作品「きれいな歯 ぼくの大事な宝物」 (小戸瀬保育園 村井悠真くん) 優秀作品「親子ならんで 歯みがきタイム リズムに合わせて1・2・3！」 (江刈川 上山瞳子さん) 優秀作品「おいしいね 食べたらみがく 合い言葉」 (江刈保育園 今村駿斗くん)

平成18年度 健康福祉まつりへの参加	幼児歯科プロジェクトチームの軌跡と標語作成  メンバー	平成19年度 健康福祉まつりへの参加 
主要活動内容	むし歯予防の知識とキシリトール 歯料資料の配付 咬合力計を使用しながら、第1大臼歯の噛む力の測定。 咀嚼回数が多い食品の紹介 おせんべい、かりんとう、たくわん、チーズ、不フランドスパン、シュークリーム、バナナの食品の中で噛む回数が多い食品を実際にご飯に食べてもらい、1番～3番までを当てる。 当たった人に歯ブラシの景品をプレゼント。 【来場者数】 咬合力測定コーナー 41人 咀嚼回数コーナー 82人 歯料相談コーナー 23人	ジュースに含まれている砂糖の量あてクイズ ボカリスエット、オロナミンC、000、カルピス、野菜ジュースの5本を用意し、量は500mlにそろえる。 また、5本の中で1番甘い飲み物で同量の砂糖水を作り飲んでもらう。参加してくれた人全員に手鏡と歯ブラシ、磨き方等の資料のかわりに紙をプレゼント。 【来場者数】 小学生以下10名、小学生21名、成人34名 (64歳以下 21名、65歳以上 13名) の計65名。 【参加者の感想】 高齢者…普段飲まないジュースの砂糖の量を当てるのは難しい。 主婦…砂糖水で飲むと本当に甘い。オロナミンC等の炭酸飲料は、炭酸でたまされてしまうんですね。 ※参加した方々は楽しそうであり、景品も手鏡と歯ブラシという事で好評であった。
活動反省	関心を示すために・・・ ① 広報に子どもの顔写真と虫歯予防で実践しているコメントの掲載 ② 健康福祉まつりへの継続参加 その他・・・ ・ 祖父母を含めて家族全体で虫歯予防できるような環境づくりが必要。 ・ 園児は先生の姿をよく見ているので、親も歯磨きをしている姿を見せること。 ・ 虫歯予防だけでなく、生活リズムを含めての取り組み。 ※ まずは、このチームに出席したことで価値があると思っただけ。そして会議の内容を家族へ報告し、次に家族以外へも伝えることが活動である。	*取り組みの成果* ① おやつに対する意識の向上 ② 住民へのむし歯予防の普及啓発ができた ③ チームの経験者が増えたことにより、虫歯予防の必要性を理解する人がふえてきた。 *考えられる課題* ① 虫歯予防の知識はあるが実行できない。 ② 実行しているが、ポイントの磨き方ができない。 ③ 子どものタイミングに合わせて歯みがきができない。 (時間がない、寝てしまう、ぐずる)

平成 20 年度活動内容について (目標：広めようむし歯予防とよい話)

日時	メンバー	内容
第1回 H20. 8. 29	9人	意見交換 今になって思うこと、感じることをふまえながらむし歯予防について意見がだされました。 【活動内容について】 ・ チラシの作成 ・ このチームがあるということ (活動内容) をもつと他の人にも広めていきたい。 ・ 5年間の軌跡をまとめたらしいな。冊子の形にして・・・。 ・ 歯科衛生士さんのブラッシング指導の実演を学ぶ。 ・ 歯科衛生士さんが出され、詳細については次回となりました。 歯科衛生士さんのブラッシング指導の実演を学ぶ。  
第2回 H20. 9. 3	8人	【見学してみる感想】 ・ むし歯予防に対する保護者の意識の差があると感じた。 ・ 昔に比べて親同士が話しをする機会が少ない。 ・ 健診の場は、聞かされたくないこともあるのではないかと感じ入って行きづらかった。 ・ 桜山歯科医より、むし歯がなくても歯列不正や歯肉炎になっている子どもが多くなっているのでもし歯予防だけでなく取り組んでいくことが必要である。 【今年度の活動内容】 ・ 健康福祉まつりへの参加 横造紙等は昨年度のを手直しして使用。 クイズコーナー：飲み物のお砂糖当てクイズ。 角砂糖でこの飲み物には、どのくらい砂糖が含まれているかを当ててもらおう。正解者には、景品のプレゼント。 ・ チラシ・パンフレットの作成 健康福祉まつりの準備とチラシの検討  
第3回 H20. 10. 8	9人	・ チラシについては、武藤先生が「歯の8・3・3」と歯科のワンポイントアドバイスについてまとめて作成してくれました。 健康福祉まつりで100部配布、ラミネート加工を掲示。 各保育園・幼稚園・学校等でA3サイズでの掲示。

第4回 H20. 9. 3	9人	<p>・ クイズコーナー</p> <p>9種類の中からジュースを選ぶ。 野菜ジュース ポカリ 倍コーヒー ヤクルト オレンジジュース リンゴジュース サイダー オロナミンC 飲むヨーグルト</p> <p>その選んだジュース (いつも飲んでいられるものや答えられそうなものでも) に含まれる砂糖の量を答える。 バラになっている角砂糖を積み上げて答えてもらおう。</p> <p>参加者へ景品 (歯ブラシ、手鏡、チラシ) のプレゼント むし歯予防の知識を広めよう。</p> <p>健康福祉まつりへの参加  </p> <p>【参加人数内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学生以下</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>64歳以下</th> <th>65歳以上</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>午前</td> <td>18</td> <td>27</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>26</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44</td> <td>37</td> <td>10</td> <td>22</td> <td>7</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ メンバーの呼び込みにより、たくさんの方の親子が参加した。 【参加者の反応】 ・ ポカリは、甘いのもっと砂糖が入っているかと思った。 ・ ヤクルトは、この量で角砂糖2つも入っていることにびっくりした。 ・ ベビー飲料は、砂糖が含まれていないかと思っていた。 【来年度への課題】 ・ 園児は、メンバーの呼び込みにより参加していたが、中学生や高校生、高齢者の参加が少なかった。 ・ 家族連れでの参加者もおり、普段の幼児歯科健診では、母親にしか話せていないことも父親に伝えることができた。しかし、クイズコーナーでは「砂糖の量が多い。少ない。」といったところで終わってしまうこともあった。 → 普段指導できない方 (父親) にむし歯予防の知識を知ってもらう機会にもなるため、年齢に合わせたもの (歯周病予防等) や掲示してある横造紙や作成したチラシを上手く活用し、一つテーマを決めて保健師が指導を行うことが必要である。</p>		小学生以下	小学生	中学生	64歳以下	65歳以上	計	午前	18	27	5	12	7	69	午後	26	10	5	10	0	51	計	44	37	10	22	7	120
	小学生以下	小学生	中学生	64歳以下	65歳以上	計																								
午前	18	27	5	12	7	69																								
午後	26	10	5	10	0	51																								
計	44	37	10	22	7	120																								

※第5回会議 未実施。今後の活動の方向性等検討。

事業実施者名	岩手県軽米町	人口	11千人 (平成20年3月31日現在)
事業名	軽米町歯科保健部会		
予算	【予算額】平成20年度 113千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 学校、保育施設、歯科医、行政が連携をとり歯科保健事業を推進するシステム		
<p>【事業目的】</p> <p>町内の歯科保健関係機関が連携を図り、足並みをそろえた歯科保健活動を推進し、乳幼児・学童・成人等生涯にわたる歯の健康づくり支援を充実強化することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 昭和57年度に開始し継続して実施している。</p> <p>2. 実施体制 町内歯科医師と学校保健会、保育施設、幼稚園、小・中・高等学校、保健推進員協議会、食生活改善推進協議会、老人クラブ、行政の代表で組織し、会長は歯科医師の代表がつとめる。</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） すべての年代が対象であるが、幼児及び児童生徒への取り組みが中心となっている。</p> <p>4. 内容 年2回歯科保健部会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設等における歯科保健活動を集約し、町の歯科保健の方向性を検討、確認する ・ 歯科保健関係者の学習の場として、講演会や情報交換会を行なう ・ 家庭におけるむし歯予防の体験発表をする ・ 「イー歯トープ8020コンクール」表彰の伝達をする <p>保育施設、小中高校に歯垢染め出し剤を配付し効果的な歯磨きの普及をする 保育施設へ出向いての歯科健康教室の開催</p> <p>5. 結果 家庭、地域、保育施設、学校等が一体となった取り組みを進めてきた結果、昭和57年当時は県平均を大きく上回っていた乳幼児、小・中学生のう歯は徐々に減少し、どの年代でも県平均並に改善された。特に、1歳6ヶ月児では平成17、18年度においてう歯0（ゼロ）となった。 親子料理教室の実施、協力など学校の食育事業と行政の保健活動の連携ができてきた。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>どの年代においても生活習慣改善、食育の推進と共に取り組む方向で歯科保健活動をすすめているが、歯科保健部会のネットワークをいかした効果的な事業の展開がこれからの課題である。 また、園児の生活調査から「むし歯の多い子は夜ふかし朝寝坊」という結果が出ており、家族・学校・地域が連携して生活習慣改善にも着目した歯科保健事業の推進が必要である。</p>			

事業実施者名	福島県平田村	人口	7千人 (平成20年3月31日現在)																				
事業名	歯科教室																						
予算	【予算額】500千円(平成9年度から毎年同額予算) 【予算分類】単独																						
実施方法	直接																						
特色のある点	・ 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校及び村内において歯科教室を開催(開催時には必ずマイクロスコープにて口の中の菌をチェックする)																						
<p>【事業目的】 平田村歯科保健計画に基づき、「丈夫な歯で一生過ごせる村」を目指して実施</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度(予定) 平成9年に第1次計画作成、平成15年第2次計画作成、現在「健康ひらた21」計画にて推進</p> <p>2. 実施体制 平田村</p> <p>3. 対象者(ターゲットとする年齢、職業等) 全村民 乳幼児健診では、歯科教室の他、フッ素塗布も含めて実施 幼稚園、保育所、小学校、中学校及び高等学校では授業に組み入れて実施</p> <p>4. 内容</p> <p>(1) 乳幼児期 離乳食教室・相談、歯みがき教室 保育所・幼稚園での児・保護者・祖父母・保育士・幼稚園教諭の健康教育</p> <p>(2) 学童期 児童生徒・保護者・教諭対象への専門職の継続的な健康教育</p> <p>(3) 成人期 各健康教育事業の中で歯・口の健康について成人歯科の1コマを組み入れ、知識や技術の普及</p> <p>(4) 高齢期 孫など家族のことも含めた歯・口の正しい知識の普及</p> <p>(5) 障がい児者 本人・家族への口腔ケア指導、施設職員などの健康教育</p> <p>5. 結果 健康ひらた21中間報告：分野別推進中間経過「歯・口の健康」(平成17年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> <th>中間経過</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.6ヶ月児う歯のない者の割合</td> <td>94.37%</td> <td>94.23%</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>3歳児のう歯のない児の割合</td> <td>43.37%</td> <td>54.17%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>12歳児の一人平均う歯数</td> <td>4.25本</td> <td>2.6本</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>80歳で自分の歯20本以上有者の割合</td> <td></td> <td>3人</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の洗面所に(歯磨き実施場所)に鏡を設置したい。 歯肉炎の予防に努めたい。 				項目	基準値	中間経過	目標値	1.6ヶ月児う歯のない者の割合	94.37%	94.23%	98%	3歳児のう歯のない児の割合	43.37%	54.17%	50%	12歳児の一人平均う歯数	4.25本	2.6本	2本	80歳で自分の歯20本以上有者の割合		3人	増加
項目	基準値	中間経過	目標値																				
1.6ヶ月児う歯のない者の割合	94.37%	94.23%	98%																				
3歳児のう歯のない児の割合	43.37%	54.17%	50%																				
12歳児の一人平均う歯数	4.25本	2.6本	2本																				
80歳で自分の歯20本以上有者の割合		3人	増加																				

事業実施者名	福島県只見町	人口	5千人 (平成20年3月31日現在)
事業名	ビーバー歯科健診(1歳児歯科健診)		
予算	【予算額】平成20年度 87千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 歯が萌出したばかりの乳児が対象であること		
<p>【事業目的】 1歳6ヶ月児健診でむし歯になっている児が多いため、歯が生えたばかりの1歳児とその親を対象に事業を行い、むし歯を減らすこと。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度(予定) 平成20年度開始</p> <p>2. 実施体制 只見町 歯科医師1名、歯科衛生士1名、保健師・栄養士</p> <p>3. 対象者(ターゲットとする年齢、職業等) 1歳児</p> <p>4. 内容 身体測定、歯科健診、希望者にフッ素塗布</p> <p>5. 結果 平成20年度からの事業のため省略</p> <p>【今後の課題】 今後、むし歯のある幼児が減少していくかどうかを観察し、事業の検討をしていきたい。</p>			

事業実施者名	茨城県日立市	人口	199 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	地域健康フォーラム in 日立		
予算	【予算額】平成 19 年度 690 千円 【予算分類】単独 (茨城県生活習慣病予防対策事業)		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 糖尿病をテーマに「歯周病と糖尿病」の関連性についての講話が、歯科医師会のみでなく、他の各種団体と連携し実施したこと		
<p>【事業目的】</p> <p>日立市の健康水準として「男女とも血糖値が高い」という健康課題がある。その対策として、「ひたち健康づくりプラン 21」を策定し、栄養・食生活の改善及び運動の習慣づくり等について、積極的に取り組んでいるところである。</p> <p>そこで今回、地域主体の健康づくりについて、医師や健康づくりの専門家と共に考え、糖尿病等生活習慣病予防の正しい知識を広く普及させ、行政と地域が協働で生活習慣病予防の推進を図ることを目的に、フォーラムの中に歯科保健を組み入れて開催した。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 18 年度開始</p> <p>2. 実施体制 主催：日立市医師会、日立歯科医師会、茨城県医師会、茨城県歯科医師会 共催：茨城県、日立市、日立市コミュニティ推進協議会、元気ひたち健康づくり市民会議</p> <p>3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 一般市民、日立市健康づくり推進員、日立市食生活改善推進員、各コミュニティ推進会など</p> <p>4. 内容</p> <p>(1) 糖尿病等生活習慣病予防のための講演会 「糖尿病予防について」 講師；糖尿病専門医 小川百合子 (日立市医師会、小川医院長) 「糖尿病と歯周病について」 講師；歯科医師 北見英理 (日立歯科医師会、北見歯科医院長)</p> <p>(2) パネルディスカッション 健康づくり推進員と食生活改善推進員、健康運動指導士による活動報告 専門家による講評：小川百合子、北見英理、田中喜代次 (元気ひたち健康づくり市民会議、筑波大教授)、久米京子 (日立市健康づくり推進課長補佐・管理栄養士)、大森美恵子 (日立市健康づくり推進課係長・保健師)</p> <p>(3) 23 地区の健康づくり推進員、日立市食生活改善推進員によるポスターセッション 模造紙等に活動報告及び事例紹介を記入したものを提示し、その説明を健康づくり推進員が行う。</p> <p>(4) 生活習慣病予防のためのコーナーをホールに設置 食生活改善推進員、日立保健所管内栄養士、日立歯科医師会、メタボリックシンドローム予防など</p>			

5. 結果

実施日時：平成20年2月2日（土）正午から午後4時まで

実施会場：十王総合健康福祉センター（ゆうゆう十王 Jホール）

参加人数：448人

各種コーナーの参加人数

みそ汁試食（とろける洋風サイコロみそ汁） 350人

日立保健所管内栄養士会コーナー 200人

メタボリックシンドローム予防コーナー 210人

フットケアコーナー 15人

歯科相談コーナー 13人

【今後の課題】

「8020運動」、「6424運動」（茨城県歯科保健目標）を達成するために、それぞれのライフステージでの有効的な歯科保健事業を展開するためには、歯科保健単独ではなく、他の保健分野や行政と地域・各種団体が協働で事業展開することが望ましいと思われる。

事業実施者名	茨城県結城市	人口	52 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	就学時歯科教室		
予算	【予算額】平成 20 年度 45 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 永久歯対策のための歯科保健活動の充実 ・ 学校保健と地域保健の連携強化 ・ 母子保健と学校保健の移行期におけるスムーズな橋渡し 		
<p>【事業目的】</p> <p>就学時健診の場は、集団指導における最後のポピュレーションアプローチの機会である。この機会を活用し、保護者が 6 歳臼歯の重要性とう歯予防のためのフッ素塗布やキシリトールについて正しく学び、う歯の予防行動につなげていくことを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 9 年度開始</p> <p>2. 実施体制 結城市 市内 9 小学校の就学時健診の際に、新就学児保護者への集団教育を実施</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 次年度入学児の保護者</p> <p>4. 内容 (1) 講話：「大切な永久歯のむし歯予防」 講師：在宅歯科衛生士 (2) 結城市の母子・歯科保健事業等の紹介</p> <p>5. 結果 市内の小学校の協力により、就学時健診の会場を借り、就学児が健診している間の保護者の待ち時間を利用して講演を実施しているので、非常に高い参加率である。平成 19 年は 469 名の参加があり、約 98%という高い参加率である。 平成 14、15 年に入学した後の歯科保健に関する実態調査を保護者に実施したところ、6 歳臼歯の重要性がわかり、仕上げ磨きを継続していることがわかった。さらに、小学校養護教諭にアンケートを取ったところ、う歯予防のニーズが高く、事業の有効性が確認された。また、当事業は 10 年以上も続いている事業であり、地域に定着してきている。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>入学した後の歯科保健に関する実態調査を保護者や養護教諭に実施し、学校側・保護者側のニーズを確認しつつ、事業内容を評価して行くべきである。 また、歯科教室を通し、教育分野と連携を図りながら地域保健の充実を図っていきたい。</p>			

事業実施者名	茨城県坂東市	人口	57 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯周病検診		
予算	【予算額】 平成 19 年度 331 千円 【予算分類】 国負担金 [1/3]、県負担金 [1/3] 【国庫補助事業名・助成金事業名等】 保健事業費負担金		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 骨粗しょう症検診と同時実施		
<p>【事業目的】</p> <p>8020運動、6424運動（茨城県）、市健康増進計画；ピカピカ笑顔のもと「いつまでも自分の歯でおいしく食べることが出来る」を目的に自身の口腔内関心を持ち、自分で歯の健康を保持できるように歯周病検診をおこなうとともに歯周病予防の啓発を行う。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 坂東市；平成 17 年度開始 （旧岩井市；平成 15 年度開始、旧猿島町；平成 14 年度開始）</p> <p>2. 実施体制 坂東市、坂東市歯科医師会、歯科ボランティア、食生活改善推進協議会</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 40、50、60、70 歳到達者（市民）約 3,000 人</p> <p>4. 内容 年齢該当者に通知。電話予約。予約者に個別通知 料金：無料 歯周病：歯周病検診、個別指導（ブラッシング指導、染め出し、アンケート、パンフレット配布など） カルシウム食など試食</p> <p>5. 結果 <u>平成 19 年度実績</u> 89 名受診 （異常なし 2 名、要指導 3 名、要精検 84 名）</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要精検の追跡、フォロー体制の確立 ・ 地域（団体等）との連携促進 			

事業実施者名	神奈川県藤沢市	人口	399 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯科保健推進会議		
予算	【予算額】平成 19 年度 138 千円、平成 20 年度 231 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 保健、医療、福祉関係機関・団体が協働し、摂食・嚥下機能障害のある高齢者を地域全体で支えていく体制を検討している点		
<p>【事業目的】</p> <p>高齢者がいつまでも、何不自由なく口から食べて元気に生活ができるよう、高齢者の口から食べる事への支援の推進について保健、医療、福祉関係機関・団体に検討し、高齢者の歯科保健の向上を図る。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 18 年度開始、平成 22 年度終了予定 平成 23 年度以降も推進会議は継続の予定だが、本テーマは 22 年度まで</p> <p>2. 実施体制 藤沢市、藤沢市歯科医師会、藤沢市医師会、藤沢市介護保険事業所連絡会、藤沢市居宅介護支援事業所連絡協議会、藤沢市民病院、訪問歯科衛生士、学識経験者</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 摂食・嚥下障害のある要介護高齢者</p> <p>4. 内容 <u>平成 19 年度</u> 高齢者の摂食・嚥下に関する各機関・団体の取り組み状況や課題について相互の状況を共有 高齢者の摂食・嚥下機能障害に対応できる病院、診療所の地域情報を把握するための実態把握調査を実施 専門職の知識、技術向上のための取り組みについて検討 要介護高齢者の摂食・嚥下機能や口腔ケアの状況及びニーズ把握のための調査を実施 病院と地域の連携の強化について検討</p> <p><u>平成 20 年度</u> 一般市民向けの普及啓発用媒体の作成に向けて検討</p> <p>5. 結果 摂食・嚥下機能障害のある患者に対応可能な医療機関の把握 管内医療機関で、摂食・嚥下機能障害の診断、検査、訓練に対応し、外部からの患者の受入を可、公開可とした 6 施設のリストを作成。今年度市内医療機関に配布予定。 (リストの情報については専門的な内容を含んでいるため、活用方法としては、市民が直接利用するのではなく、医療機関間の連携を考えている。)</p>			

研修会の実施

居宅介護支援事業所連絡協議会主催のケアマネジャーを対象とした研修会に、歯科医師会が講師として協力。

高齢者の摂食・嚥下機能支援実態把握調査の実施

要介護高齢者の摂食・嚥下機能や口腔ケアの状況及びニーズ把握のため、ケアマネジャーの協力を得て、実態把握調査を実施。

診療情報提供書を活用した市民病院と地域との病診連携体制づくり

市民病院に入院中、口腔ケアを受けてきた患者が、在宅に戻っても継続してケアが受けられるよう、病院から歯科医師会に継続ケア依頼を出し、歯科医師会が対応するという流れを整備。

【今後の課題】

ケアマネジャーの協力で実施した「高齢者の摂食・嚥下機能支援実態把握調査」結果で、要介護高齢者で口腔内に問題や不自由があるにもかかわらず、改善の希望が本人・家族にないというケースが見られた。口腔ケア、口腔機能の重要性について、歯科関係者と他の医療介護関係者、高齢者及び家族との間に認識の温度差があり、問題があっても専門的サービスにはつながらないという現状がある、と思われた。今後の取り組みとして、口腔ケア、口腔機能の重要性を広く理解してもらうために、専門職及び市民の両方に向け、効果的な普及啓発を行う必要があると考える。

事業実施者名	富山県富山市	人口	417 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	「ライフスタイルいきいき大作戦」事業の中の「禁煙支援セミナー」		
予算	【予算額】 888 千円 (平成 20 年度予算、禁煙支援セミナーを含む) 【予算分類】 単独		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙支援セミナー (1 コース 5 回、年 2 コース) の中で医師、歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士が参加し、教室を運営 		
<p>【事業目的】</p> <p>喫煙が健康に及ぼす悪影響については、受動喫煙を含め、多くの疫学研究等により指摘されており、がんや心臓病、呼吸器疾患など多くの疾病発生に大きく関与している。</p> <p>喫煙は「病気の原因のなかで予防できる最大の単一の原因」であることから、市民一人ひとりや、地域・学校・企業など、まちぐるみで禁煙・分煙運動の推進に取り組み、様々な喫煙関連疾患の一次予防を効率的に行うことを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 15 年度開始</p> <p>2. 実施体制 富山市 保健所職員による直営事業であり、禁煙支援医師を外部講師に依頼</p> <p>3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 市内在住あるいは市内に勤務する 20 歳以上の者 定員 15 人</p> <p>4. 内容 回数 : 2 コース (1 コース 5 回) 時期 : 1 コース・・・6 月～8 月、2 コース・・・10 月～12 月 時間 : 午後 7 時～8 時 30 分 (受付時間 : 午後 6 時 30 分～7 時) 内容 : ① ニコチン代替療法剤 7 日間無料処方 ニコチン依存度チェック 健康チェック 集団指導 (禁煙と健康管理、肥満予防、歯科保健等) グループワーク 医師の個別相談 (ニコチン代替療法剤処方含む) その他 ; 受講者 (OB 会) との交流</p> <p>5. 結果 昨年までの受講者を対象に禁煙状況をアンケートにて調査したところ、回答者の約 6 割が禁煙を維持していた。</p> <p>【今後の課題】 年々受講者数が減少してきており、受講者の募集方法について検討が必要である。</p>			

事業実施者名	富山県滑川市	人口	34 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	食育・むし歯予防教室		
予算	【予算額】 平成 20 年度 50 千円 【予算分類】 国交付金 [1/2] 【国庫補助事業名・助成金事業名等】 次世代育成支援対策交付金		
実施方法	一部委託		
特色のある点	・ 歯科保健と食育を連携させた事業であること		
<p>【事業目的】 食事や歯磨きなど生活習慣が自立してくる幼児期に、毎日の生活のなかで食べることの重要さを意識づけ、また健康な歯を維持し、健やかな学童期につなげることを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度開始 2. 実施体制 滑川市 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 滑川市内の保育所、幼稚園の年長児・年中児 4. 内容 食育媒体（紙芝居）で朝ごはんの大切さを伝えた後、楽しんで歯磨き、ブラッシング指導を行う。 5. 結果 平成 20 年度からの事業のため省略 <p>【今後の課題】 「歯と口の健康」と「食」のつながりの重要さを意識した実践活動を行い、保育所・幼稚園の幼児が日常生活で実践できるように啓発すること。</p>			

事業実施者名	富山県入善町	人口	28 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	すこやか親子推進事業		
予算	【予算額】平成 19 年度 20 千円、平成 20 年度 20 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健と食育を連携させた事業であること ・ 手作りの紙芝居とペープサートを作成・使用していること 		
<p>【事業目的】</p> <p>健康で長生きするためには、乳幼児期からの生活習慣が重要である。そのためには、食生活習慣改善や食育とあわせ「硬いものも含め何でも噛める」ことが必要である。「硬いものも含め何でも噛める」には、歯並び・歯・顎関節・咀嚼筋群・口唇等の良い口腔環境で、効率良い口腔機能を維持する必要がある。</p> <p>そこで、幼児期の歯磨きの重要性について正しい知識の普及啓発を図る。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度開始</p> <p>2. 実施体制 入善町保健センター、入善町教育委員会事務局</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 平成 19 年度に「入善っ子食育教室」を実施した 5 保育所（西部・青木・飯野・小摺戸・柵山）の園児とその保護者 地区社会福祉協議会主催の子育てサロンに参加している親子 指導センター、西部児童館に来所している親子</p> <p>4. 内容 町内の保育所等で、歯科衛生士や保健師による口腔ケアに関する基本的な知識や適切な対処方法等についての講義と母子保健推進員による歯磨き習慣を喚起する紙芝居の上演を行う。また、保育所では歯科衛生士による仕上げ磨き指導も実施する。 テーマ：健康で長生きは、乳幼児期の生活習慣から……歯を大切にしよう！ 講師：対象者①の場合……在宅歯科衛生士、入善町母子保健推進員連絡協議会、町保健センター保健師 対象者②③の場合……入善町母子保健推進員連絡協議会、町保健センター保健師 内容：対象者①の場合……講義：口の機能と虫歯予防について（約 30 分） 創作紙芝居：むし歯きんバイバーイ！（約 15 分） 体験：3 歳児親子による仕上げ磨き（約 30 分） 対象者②③の場合……創作紙芝居：むし歯きんバイバーイ！（約 15 分） 講義：口の機能と虫歯予防について（約 10 分）</p> <p>5. 結果 現在継続中のため記載省略</p> <p>【今後の課題】 対象者②③について、母子保健推進員の自主活動として自立できるように支援すること</p>			

事業実施者名	三重県桑名市	人口	138 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	子育てささえあい広場 in くわな		
予算	【予算額】 平成 19 年度 266 千円 【予算分類】 助成金 266 千円 【国庫補助事業名・助成金事業名等】 ささえあいくらぶモデル事業		
実施方法	一部委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 閉じこもりがちな親子に呼びかけ参加を促す。歌・遊びを通してふれあえる交流の場を設け、その中で歯科保健教育やエプロンシアターなどを行った。 		
<p>【事業目的】</p> <p>桑名市には地域で様々な健康に関する活動を自主的に行う「桑名市健康推進員」が設置されており、その活動の一つとして母子保健事業にも力を注いでいる。</p> <p>核家族の若い保護者に地域で見守る人たちや助け合う環境があることを知ってもらうためにも健康推進員が、閉じこもりがちな親子、友人の少ない親などに対して積極的に呼びかけ、友達作りの手伝いをする。</p> <p>その中で、健康教育も織り交ぜて様々な角度から、子育て支援を行う。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年 10 月から 12 月まで</p> <p>2. 実施体制 桑名市中央保健センターと桑名市健康推進員による共同事業</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 桑名市に住む、未就園児とその保護者</p> <p>4. 内容 桑名市を 4 つの地域に分け、それぞれの地域で 1 回につき 50 組の親子を対象に行う。歌、ボール遊び、手遊びなどさまざまな遊びを通して保護者や子供同士の交流を図る。歯科衛生士による保健教育と助産師によるエプロンシアターなど健康教育も実施する。終了後には、アンケート調査も行う。 歯科保健教育として「おしゃぶり・指しゃぶりについて」、「むし歯になりやすいおやつの種類と与え方」、「フッ素の応用方法」をクイズ形式で出題しながら行った。</p> <p>5. 結果 申し込みの時点で、会場によっては断ることも多く、このような企画の反響の大きさに驚いた。アンケート調査の結果「次回も参加したい」と回答した親子が 4 地区それぞれ 96～100%であり、若い保護者たちが出かけるきっかけ、交流の機会を望んでいることが分かった。 歯科に関するアンケートでは、「ダラダラ食べ」、「甘いおやつ制限」、「歯科医院でフッ素を塗る」、「毎日の歯みがき」の中で効果が高いと思うものと努力できるものについて調査を行った。</p>			

効果が高いものと努力できるものの差はほとんどなく、保護者のむし歯予防に対する意識の優先順位は「歯みがき→ダラダラ食べ→甘いおやつ→フッ素塗布」であった。

【今後の課題】

- ・ 対象が未就園児という事だけであったため、年齢層に幅ができた。
- ・ 幅広い対象者との交流としては有効的だが、遊ぶ内容や健康教育の内容は焦点が絞りきれない部分もあった。
- ・ 次回実施の際には、対象年齢を分けた遊びや健康教育内容を考えたりすることも必要ではないかと思われた。

事業実施者名	三重県大台町	人口	11千人 (平成20年3月31日現在)																																																																								
事業名	お達者健診歯科健診																																																																										
予算	【予算額】平成20年度 150千円 【予算分類】単独																																																																										
実施方法	一部委託																																																																										
特色のある点	・ 75歳以上の介護保険無認定者を対象に、身体機能や認知機能の検査と同時に歯科健診を実施している。																																																																										
<p>【事業目的】</p> <p>75歳以上の介護保険無認定者を対象に、身体機能や認知機能の検査を行い、早期に支援の必要な方を発見し介護予防につなげるためのお達者健診と同時に歯科健診を実施し、お口の健康が身体の健康につながることを理解し、自分の歯や義歯でしっかり噛め、口腔内が清潔に保てるよう支援する。</p> <p>口腔機能向上教室参加が望ましい方を把握し、参加につなげる。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成19年度開始</p> <p>2. 実施体制 松阪地区歯科医師会に委託</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 75歳以上の介護保険無認定者</p> <p>4. 内容 問診（基本チェックリストの口腔機能の問診を含む10問） 口腔内視診（むし歯の有無、さし歯・入れ歯の破損状況、噛み合わせ、歯茎の状態、歯石の有無、口腔内清掃状況、舌苔の有無、顎関節の異常の有無など）</p> <p>5. 結果 平成19年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">受診者数</th> <th colspan="2">判定結果</th> <th colspan="4">口腔機能問診項目該当数</th> <th rowspan="2">特定高齢者候補者数</th> <th rowspan="2">特定高齢者決定者数</th> </tr> <tr> <th>1（良好）</th> <th>2（要受診）</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75～79歳</td> <td>45</td> <td>16</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>80～84歳</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>85～89歳</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66</td> <td>19</td> <td>47</td> <td>36</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>											受診者数	判定結果		口腔機能問診項目該当数				特定高齢者候補者数	特定高齢者決定者数	1（良好）	2（要受診）	0	1	2	3	75～79歳	45	16	29	28	12	5	0	5	3	80～84歳	15	3	12	5	7	2	1	3	0	85～89歳	5	0	5	3	0	2	0	2	1	90歳以上	1	0	1	0	1	0	0	0	0	合計	66	19	47	36	20	9	1	10	4
	受診者数	判定結果		口腔機能問診項目該当数				特定高齢者候補者数	特定高齢者決定者数																																																																		
		1（良好）	2（要受診）	0	1	2	3																																																																				
75～79歳	45	16	29	28	12	5	0	5	3																																																																		
80～84歳	15	3	12	5	7	2	1	3	0																																																																		
85～89歳	5	0	5	3	0	2	0	2	1																																																																		
90歳以上	1	0	1	0	1	0	0	0	0																																																																		
合計	66	19	47	36	20	9	1	10	4																																																																		

- (健診の結果) a 少し歯垢あり：30名(45.5%)
b むし歯あり：25名(37.9%)
c 歯石あり：21名(31.8%)
d 噛み合わせ不適合：16名(24.2%)
e さし歯・入れ歯の破損あり：9名(13.6%)

健診の結果から受診治療の必要な方が多かった。さし歯・入れ歯は一度作ったら一生使えると思っている方が多く、実際に咬合紙を噛んで、噛み合わせを診てもらうことで、不適切な歯を使っていることを理解してもらうことができた。さし歯・入れ歯の破損があっても使用していたり、噛み合わせが不適合でしっかり噛めない状態で使用している方が多く、健診終了後指摘されたことを改善するために歯科医院を受診する行動に結びつく事ができた。

お達者健診の結果で認知機能の低下ありと判定された方のうち、81.8%の方が判定結果2(要受診)、認知機能低下なしと判定された方の場合は69.2%の方が判定結果2であった。しっかり噛んで食べる事が脳を刺激し認知機能の低下を予防していると考えられ、お口の健康状態が認知機能と関係していることの確認ができた。

受診者66名のうち、特定高齢者候補者は10名で、特定高齢者と決定され包括支援センターが実施する口腔機能向上教室参加者は4名であった。

【今後の課題】

特定高齢者候補者となっても口腔機能向上教室に参加される方は少なく、歯に対する関心が低いと、お口の健康が全身の健康に関係するということを健康相談の場やケーブルテレビでの放送等様々な機会を活用し周知していく必要がある。

また、各種検診や事業を組み合わせ総合的な健診内容とし、受診者の増加を図っていく必要がある。受診したことでQOLの向上が実感できるなど受診者にとって魅力的な内容にしていく必要がある。

しっかり噛めることで誤嚥性肺炎や認知症等を予防し、豊かな生活を送るためにはお口の健康が大切であることを早くから理解してもらう必要があり、対象年齢の検討が必要である。

事業実施者名	三重県紀宝町	人口	13千人 (平成20年3月31日現在)
事業名	歯周疾患検診		
予算	【予算額】 平成19年度 約250千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 1/3] 【国庫補助事業名・助成金事業名等】 老人保健事業		
実施方法	一部委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 当町では平成13年度歯科保健プロジェクトチームを結成。町長、参事(医師)、県歯科医師(アドバイザー)、健康づくり推進課長、保健師長、歯科衛生士および町内に開業の全歯科医師等で構成される。年に2回の会議を開催し、歯科保健事業を常に評価、検討しながら進めている。 対象者は集団または個別を選択することができる。個別では町内開業歯科医療機関すべてで受診可能としている。 検診方法についてはマニュアルの作成、器具の統一、会議での打ち合わせ等で統一できるようにしている。 		
【事業目的】 初期段階では自覚症状がほとんどないが、成人の80%以上が罹患しているといわれる歯周病を健診によって本人が気付くこと。また、正しいブラッシング等の自己管理と定期健診の重要性を理解してもらうこと、実施してもらうことを目的とする。			
【事業概要】 1. 開始年度及び終了年度(予定) 平成13年度開始 2. 実施体制 事業内容等を歯科保健プロジェクト会議で検討。計画、実施、評価を繰り返し実施。 町内の歯科医療機関すべてが協力体制。平成19年度までは、老人保健法による40・50歳健診に併行して実施。 老人保健法による歯周疾患マニュアルを参考(厚生省老人保健福祉局老人保健課 監修)に実施。 3. 対象者(ターゲットとする年齢、職業等) 40・50・60・70歳節目の町民 (平成19年度 40歳130人、50歳149人、60歳272人、70歳159人 合計710人) 4. 内容 歯周疾患検診では事前に行う問診により生活状況、喫煙の有無等を把握、サリバスターにより口腔内潜血状態をチェック。歯科医師による口腔内診査後、歯科衛生士(または歯科医師)が対象者にあった歯みがき指導、保健指導を行う。 (1) 問診 (2) 診査・判定→異常なし、要指導、要精査 サリバスター、口腔内診査、歯肉の状況把握(CPITN)、歯垢染出し (3) 指導 歯みがき指導(歯ブラシ、歯間ブラシ、ワンタフト)、自己観察法、生活習慣指導(禁煙指導含む)、その他 (4) 検診後にアンケート			

5. 結果

平成 19 年度実績

	40 歳	50 歳	60 歳	70 歳	合計
集団	3	5	6	0	14
個別	4	2	6	6	18
合計	7	7	12	6	32
受診率	5.4%	4.7%	4.4%	3.8%	4.5%

要精査 94%

平成 19 年度、これまでに歯周疾患検診を受診した者（H15-H18）に対して、アンケートによる経過調査を実施した。〔95 人に調査、回収 54（56.8%）〕

1. 受診後、毎日の歯のお手入れに変化がありましたか。

はい 72.2% いいえ 16.7% 無記入 11.1%

2. 歯や口に問題が有る無しに関わらず、1 年に 1 回以上受診している。

はい 51.9% いいえ 42.6% 無記入 5.6%

3. 少なくとも 1 日 1 回は時間をかけてみがいている。

はい 82.7% いいえ 15.4% 無記入 1.9%

4. 鏡を見て歯ブラシのあたっている場所を自分で確認している。

はい 46.1% いいえ 44.2% 無記入 9.6%

5. 週に 1 回以上、歯間ブラシを使用し、歯と歯の間の汚れをとっている。

はい 59.6% いいえ 36.5% 無記入 3.8%

6. 週に 1 回以上、デンタルフロスまたは糸ようじを使用し、歯と歯の間の汚れをとっている。

はい 32.7% いいえ 63.5% 無記入 3.8%

7. 歯ブラシを 2 か月に 1 度は取り替えている。

はい 67.3% いいえ 26.9% 無記入 5.8%

8. 週に 1 度は歯肉の状態を鏡で見て観察している。

はい 44.2% いいえ 51.9% 無記入 3.8%

9. この 1 年間の間に歯科医院で歯石を取り除いてもらった。

はい 55.8% いいえ 42.3% 無記入 1.9%

10. この 1 年間の間に歯科医院で歯みがきの仕方を教わった。

はい 57.7% いいえ 40.4% 無記入 1.9%

11. かかりつけの歯科医院がある。

はい 82.7% いいえ 9.6% 無記入 7.7%

以上のように、歯周疾患検診の受診者には行動変容があらわれている。

【今後の課題】

- ・ 受診率が低いこと。また受診希望者が急増した場合の事業予算について課題。
- ・ 平成 20 年度から老人保健法が健康増進法にかわり、併行実施していた 40・50 歳健診が廃止された為、平成 20 年度は単独事業となった。来年度以降について、他事業との併行実施を検討中。

事業実施者名	岡山県倉敷市	人口	473 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	健口くらしき 2 1 「歯っするひろば」		
予算	【予算額】平成 18 年度 230 千円、平成 19 年度 150 千円、平成 20 年度 100 千円 【予算分類】単独、その他 [国保事業特別会計予算]		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 歯科保健を含めて笑いと健康にスポットをあてて講演会を開催		
<p>【事業目的】</p> <p>本事業は、笑いと体内の免疫力が健康増進と関わっていることに注目して、歯科保健を含めて、その効用を利用した健康増進法の学習を市民に啓発することにより、笑いを通じた健康づくりの推進を図るものである。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 18 年度開始</p> <p>2. 実施体制 倉敷市愛育委員会連合会、栄養改善協議会及び市内歯科医師会の協力（PR）のもと、倉敷市保健所健康づくり課が実施</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 市民</p> <p>4. 内容 笑いと歯と健康をテーマにした講演会の開催</p> <p><u>平成 18 年度</u> 講演 1 演題；「素敵なお顔の作り方・・・小顔効果」 講師；日本笑い学会岡山笑わん会支部会長 都窪歯科医師会・ハロー歯科院長 滝川 雅之 講演 2 演題；「あなたの笑顔 何より葉」 講師； 日本笑い学会副会長 元気で長生き研究所所長 昇 幹夫</p> <p><u>平成 19 年度</u> 講演 1 演題；「審美歯科と健康」 講師；医療法人 真摯会分院クローバー豊中本町院院長・日本笑い学会会員 藤田 義典 講演 2 演題；「笑いは百薬の長」 講師；園芸プロデューサー 日本笑い学会副会長 熊谷 富夫</p> <p><u>平成 20 年度</u> 講演 1 演題；「笑いのチカラ」 講師；財団法人 新居浜精神衛生研修所附属 財団法人新居浜病院副院長 枝廣 篤昌 写真展「孫と私の素敵なお顔」を開催して、素敵なお顔ができる口を維持することの大切さを啓発する。</p>			

5. 結果

平成 18 年度実績 参加者 450 人

平成 19 年度実績 参加者 90 人

年度により参加者数に変動があったが、健康づくりにおける笑いの効用や口腔保健と全身との関連性について関心が深まり、笑いを通じた健康づくりという本事業の目的が達せられた（参加者の講演後のアンケートより評価）。

【今後の課題】

PRの方法を工夫して、参加者数の増加を図るとともに、講演の内容についても、さらに住民が笑い
と健康や歯科保健について、楽しく学べるような内容にしていくことが必要である。

事業実施者名	岡山県早島町	人口	12千人 (平成20年3月31日現在)
事業名	青年と妊婦の歯周疾患検診		
予算	【予算額】不明(節目検診として一括計上しているため) 【予算分類】単独		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 国の定める節目検診以外に、町独自で20歳、30歳の節目と妊婦に対し歯周疾患検診を行っている。 		
<p>【事業目的】</p> <p>歯を失う原因や歯周病菌により全身疾患を引き起こす原因となる歯周疾患を早期に発見するとともに、本人の歯周疾患に対する認識を深め、口腔清掃等の口腔保健活動を積極的に行うことにより、歯周疾患を予防することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度(予定) 平成20年度から20歳の節目と妊婦検診を実施 30歳は国が歯周疾患検診を始めた年度より実施 実施体制 町内の医療機関に委託 対象者(ターゲットとする年齢、職業等) 20歳、30歳の節目並びに妊娠5~8ヶ月の妊婦 内容 国の歯周疾患検診に基づく 結果 記載省略 <p>【今後の課題】</p> <p>受診者が少なく、受診率の向上に努めたい。</p>			

事業実施者名	岡山県岡山市	人口	686 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	健康市民おかやま 2 1		
予算	【予算額】 0 円		
実施方法	市民主導		
特色のある点	・ 住民全体の健康づくり運動		
<p>【事業目的】 「すべての市民が健康で自分らしく生きられるまち」を目指し、健康日本 2 1 地方計画である「健康市民おかやま 2 1」を策定</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 15 年度開始、平成 24 年度終了予定 2. 実施体制 健康市民おかやま 2 1 推進会議 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 市民 4. 内容 イベント実施時、市民主導によりフッ素洗口体験コーナーを実施。 また自作のパネルによる歯周病予防健康教育を実施。 5. 結果 記載省略（現在、結果を把握中のため） <p>【今後の課題】 なし</p>			

事業実施者名	徳島県徳島市	人口	260 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯科医師相談		
予算	【予算額】平成 19 年度 120 千円、平成 20 年度 120 千円 【予算分類】その他 [介護保健特別会計]		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 予約制の個別歯科相談		
<p>【事業目的】</p> <p>豊かな食生活は「質の高い生活」の基本である。歯が悪いために食べたいものも食べることのできない不自由さは、高齢者にとっては苦痛であるばかりでなく、食事の偏りは低栄養をきたし、健康にも大きな影響を与える。</p> <p>そこで、歯科医師による簡単な口腔チェックと日頃の歯の健康づくりに関する相談・指導を行うことで、高齢者の健康寿命を高める。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 老人保健法施行に伴い、昭和 58 年度より導入</p> <p>2. 実施体制 徳島市歯科医師会から歯科医師 1 名が出務して対応する</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 主に 65 歳以上の市民</p> <p>4. 内容 奇数月に実施。13 時～15 時までの予約制で、一人の相談時間は 30 分。 徳島市は糖尿病死亡率が高く、また、歯周病の罹患率も高い。健康な生活を過ごすには歯周病を予防することは必須であり、歯みがきの方法や専門的な口腔指導を行っている。</p> <p>5. 結果 歯科医師相談実績 平成 18 年度実績 13 人 平成 19 年度実績 5 人</p> <p>【今後の課題】</p> <p>歯科医師相談の内容が口腔内チェック等の簡易なもののため、魅力がなく、来所者が少ない。 今後は、歯周病予防に焦点を絞り、歯垢の取り方や糸ようじの等の使用方法について具体的な指導を実施する。</p>			

事業実施者名	愛媛県砥部町	人口	23 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	むし歯予防事業		
予算	【予算額】 0 千円		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 砥部町内の児童館で乳幼児とその母親を対象にむし歯予防教室を実施		
<p>【事業目的】 一生を自分の歯で豊かに暮らすことは大切であり、乳歯の健康が永久歯の健康の基本となる。そこで、幼児とその保護者を対象にむし歯予防教室を開催し、保護者の認識を高めるとともに、正しい知識の普及を図ることを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 3 年～毎年継続して開催 実施体制 健康づくり課（保健センター）が実施主体となる。 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 満 1～3 歳児とその保護者（砥部町内の児童館参加者） 内容 歯科衛生士または保健師による講話「むし歯予防教室」 ブラッシング劇「バイキンマンをやっつけろ！」 染め出しによるブラッシング指導、個別指導 風船を使った手品 結果 平成 20 年 6 月中に砥部児童館で 2 回、麻生児童館で 2 回実施。 砥部児童館：平成 20 年 6 月 4 日 2～3 歳児 21 組 平成 20 年 6 月 20 日 2～3 歳児 19 組 麻生児童館：平成 20 年 6 月 5 日 2～3 歳児 27 組 平成 20 年 6 月 13 日 1 歳児 17 組 各児童館に 2 回お伺いし、ほとんどの参加者に指導することができた。 ピカイチ歯の健康相談（県事業）の紹介（歯科医師による健診、フッ素塗布） 集団での指導（講話）と個別の染め出し、ブラッシング指導を行う。 講話では、むし歯のでき方、おやつのポイント（砂糖量、与え方、歯によいおやつ）、けがをしてしまった時、歯が抜けてしまった時の対応、仕上げみがきのテクニックなどをのせた資料を準備していた。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館でのブラッシング指導と 3 歳 6 ヶ月児健診の歯科健診、ブラッシング指導を両方受けてもらい、経過を追ってみたい。 母と子のよい歯のコンクール（母子ともに今まで未治療）選出者が増えて欲しい。（3 歳 6 ヶ月児健診までに） 小学校入学後も養護教諭を中心に歯科指導の充実を図ってほしい。 			